

北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
サウンディング型市場調査

実施要領

令和 7 年 11 月 7 日
内閣府沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所

1. 調査の目的

内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所（以下「北部ダム統管」という。）は現在 9 つのダム及び導水トンネルを管理しており、そのうち大保ダム、福地ダム、安波ダムでは、それぞれ平成 22 年度、平成 25 年度、平成 27 年度より管理用水力発電施設を整備し、ダムからの放流（利水補給含む）水を活用した水力発電を行っています。発電した電力はダム管理用として使用するほか、余剰分を電力会社へ売電することで、未利用エネルギーの有効活用、環境負荷の低減、これによる効率的な施設管理を行っています。

小水力発電はクリーンエネルギーであり、自然環境に優しくカーボンニュートラルの推進にも貢献することから、現在小水力発電を実施していない 6 ダムを含めた 9 ダム及び導水トンネルについて小水力発電の導入検討を始めたところです。

小水力発電の実施に当たっては、行政による整備・運営だけでなく、民間事業者の持つ資金や経営能力等の民間活力を活用することも視野に入れていることから、小水力発電導入に係るサウンディング型市場調査（以下「本調査」という。）ではダム及び導水トンネルを活用した小水力発電の実施について民間事業者の皆様のご意見を徴取するとともに、地域振興やカーボンニュートラルへの貢献の可能性等についても提案・アイデアを幅広くおうかがいすることを目的としています。

2. 対象地・対象施設の概要

※詳細は「別紙1：事業概要資料」を参照ください。

(1) 対象地の概要

本調査の導入検討の対象とする9ダム及び導水トンネルの位置と概要を次図に示します。大保ダム、安波ダム、福地ダムについては、既に発電施設を整備・運用しています。なお、導水トンネルについては新川ダムサイト下流に位置します。

北部にある9つのダム



(2) 対象施設の概要

北部ダム統管が管理する9ダム及び導水トンネルについて、現時点で検討している整備対象施設（水力発電設備）の発電計画規模に関する主な設備諸元（案）を次表に示します。基本的には流量変化の少ない「河川維持流量」を使用水量とした小水力発電を検討しています。

なお、既に発電施設が整備・運用されている大保ダム（利水流量）、福地ダム（利水流量）、安波ダム（河川維持流量）では、既設発電施設以外の水路ルートでの検討結果を示しています。

表 整備対象施設における発電計画規模に関する設備諸元 (案) ※1 ※2

ダム名 項目	金武ダム (間欠式※3)	漢那ダム	羽地ダム (DAS 併用※4)	大保ダム 【既設】	福地ダム※5 【既設】
水系/河川	億首川/ 億首川	漢那福地川/ 漢那福地川	羽地大川/ 羽地大川	大保川/ 大保川	福地川/ 福地川
発電形式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式
有効落差 (m)	15.0	20.6	35.6	52.7	38.6
使用水量 (m³/s)	0.09	0.04	0.225	0.92	3.29
	河川維持流量	河川維持流量	河川維持流量	利水流量	利水流量
最大出力 (kW)	10.3	5.3	55.3	380	1,130

ダム名 項目	新川ダム※5	安波ダム※5 【既設】	普久川ダム※5	辺野喜ダム※5	新川導水 トンネル※5
水系/河川	新川川/ 新川川	安波川/ 安波川	安波川/ 普久川	辺野喜川/ 辺野喜川	新川川/ 新川川
発電形式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式	導水 トンネル内
有効落差 (m)	7.6	38.2	12.0	23.3	37.1
使用水量 (m³/s)	0.07	0.25	0.07	0.17	0.15
	河川維持流量 +導水量	河川維持流量	利水流量+ 河川維持流量	河川維持流量	利水流量
最大出力 (kW)	3.6	67.0	5.6	25.0	38.2

※1 上記は調査時点の検討内容を踏まえたものであり今後変更になる可能性があります。

※2 水路ルートや発電施設の配置箇所は「4. 参考資料」に図面(写真等)で示します。

※3 下流河川水位に応じて50cm以上で放流を実施したり、停止したりする方法を適用しています。

※4 新規発電に適用する水量には期間制限があります。(1月~3月)

※5 北部5ダムの統合運用により、利水(導水)する時期や使用水量が決定されます。

3. スケジュール

本調査のスケジュールは以下のとおりです。

事項	日程
調査資料等の公表	令和7年11月7日(金)
現地説明会参加申込書の提出期限	令和7年11月19日(水) 17時
現地説明会実施	令和7年12月2日(火)～4日(木) のうち、いずれか1日で実施
質問票、調査票、ヒアリング希望確認書の提出期限	令和7年12月19日(金) 17時
ヒアリングの実施	令和8年1月26日(月)～28日(水)

4. 調査内容

※詳細は「別紙1：事業概要資料」及び「様式3：調査票」を参照ください。

- (1) 貴社における類似事業の実績（問1）
- (2) 小水力発電の実施に際しての要望、意見（問2～問15）
- (3) 事業への関心、参加の検討にあたって提供を希望する情報等（問16～問20）

5. 調査の手順

(1) 調査資料等の公表

本実施要領のほか以下の資料を北部ダム統管ホームページにて公表します。

- ・ 別紙1：事業概要資料
- ・ 様式1：現地説明会参加申込書
- ・ 様式2：質問票
- ・ 様式3：調査票
- ・ 様式4：ヒアリング希望確認書

(2) 現地説明会の実施

本調査にご参加予定の方を対象に、本調査の対象施設のダムにて現地説明会を実施いたします。現地説明会への参加をご希望される場合は、「様式1：現地説明会参加申込書」に必要事項をご記入の上、**令和7年11月19日（水）17時まで**に以下のメールアドレスあてにご提出ください。なお、現地説明会は12月2日（火）～4日（木）のうちいずれか1日での実施を予定していますが、これ以外の日程における対応も検討いたしますので、その場合もご希望の日を「様式1：現地説明会参加申込書」にご記入ください。

ご提出の際には件名を「[現地説明会参加申込] 北部ダム小水力発電事業」と記載いただけますようお願い申し上げます。（現地説明会の対象ダム、日時、集合場所等については、後日ご連絡させていただきます。）

ご提出時期	令和7年11月19日（水）17時
ご提出先メールアドレス	hydropower.north-dam@ctie.co.jp

(3) 質問の受付・回答

本調査についてご不明な点やご質問がある場合は、「様式2：質問票」にご記入の上、以下のメールアドレスあてにご提出ください。令和7年12月19日（金）17時までにご提出ください。ご提出の際には件名を「〔質問〕北部ダム小水力発電事業」と記載いただけますようお願い申し上げます。なお、提出いただきました質問は、質問者独自の技術、ノウハウ等に係るものを除き、北部ダム統管ホームページに随時公表予定です。

ご提出時期	令和7年12月19日（金）17時
ご提出先メールアドレス	hydropower.north-dam@ctie.co.jp

(4) 調査票の提出

実施要領、事業概要資料等をご参照いただき、「様式3：調査票」にご記入の上、令和7年12月19日（金）17時まで以下のメールアドレスあてにご提出ください。ご提出の際には件名を「〔調査票〕北部ダム小水力発電事業」と記載いただけますようお願い申し上げます。

ご提出時期	令和7年12月19日（金）17時
ご提出先メールアドレス	hydropower.north-dam@ctie.co.jp

(5) ヒアリングの実施

ご提出いただいた回答内容に関して、ヒアリングを実施させていただく場合があります。ヒアリングにご協力いただける場合は、「様式4：ヒアリング希望確認書」に必要事項をご記入の上、令和7年12月19日（金）17時まで以下のメールアドレスあてにご提出ください。ご提出の際には件名を「〔ヒアリング希望〕北部ダム小水力発電事業」と記載いただけますようお願い申し上げます。（ヒアリングの日時や実施方法、場所については、調整後、後日ご連絡させていただきます。）

ご提出時期	令和7年12月19日（金）17時まで
ご提出先メールアドレス	hydropower.north-dam@ctie.co.jp

※ヒアリングはWEB又は対面形式とし、所要時間1時間程度を想定しております。

貴社及び北部ダム統管、業務受託者（株式会社建設技術研究所）が参加いたします。

※ヒアリングの実施日は令和8年1月26日（月）～28日（水）を予定しています。

6. 留意事項

- ・ 誠に勝手ではございますが、本調査に要する費用はご回答いただく事業者にご負担いただきます。
- ・ ご回答いただいた内容は本調査以外の目的には利用いたしません。
- ・ 今後の事業者選定時に、本調査への参加の有無や回答内容が優位性を持つものではございません。
- ・ 現時点でご回答いただける範囲でお答えいただけますようお願い申し上げます。
- ・ 必要に応じて、追加での問合せ・確認等（文書による照会を含む）を実施する可能性がありますので、ご協力をお願いいたします。

7. 問合せ先・提出先（業務受託者）

株式会社 建設技術研究所 PFI・PPP 室（担当：柄澤）
住所：〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 F タワー
メールアドレス：hydropower.north-dam@ctie.co.jp
電話：03-3668-0999

8. 調査主体

内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 管理課（担当：松田、玉城、牧志）
住所：〒905-0019 沖縄県名護市大北 三丁目 19 番 8 号

**北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
サウンディング型市場調査
事業概要資料**

1. 調査の目的

地球温暖化の原因となっている温室効果ガス抑制対策に向けて、政府では令和 2 年 10 月に「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、省エネ対策の強化に加え、再生可能エネルギーの活用等が重要な課題になっています。

内閣府沖縄総合事務局では食品・農林水産業分野、港湾分野、運輸分野等の各分野においてカーボンニュートラルの取組を推進しています。

また沖縄県では「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」を 2022 年 3 月に改定し、低炭素で災害に強い、沖縄らしい島しょ型エネルギー社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大等に向けた取組が進められています。

こうした中、内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所（以下、「北部ダム統管」という。）では管理する 9 ダムにおいて、発電施設及び導水トンネルにおける未利用エネルギー活用の可能性の検討を行っています。

北部ダム統管で管理する大保ダム、安波ダム、福地ダムでは、それぞれ平成 22 年度、平成 25 年度、平成 27 年度より管理用水力発電施設を整備し、ダムからの放流（導水補給含む）水を活用した水力発電を行っています。発電した電力はダム管理用として使用するほか、余剰分を電力会社へ売電することで、未利用エネルギーの有効活用、環境負荷の低減、これによる効率的な施設管理を行っています。

小水力発電はクリーンエネルギーであり、自然環境に優しくカーボンニュートラルの推進にも貢献することから、現在小水力発電を実施していない 6 ダムを含めた 9 ダム及び導水トンネルにおいても小水力発電の導入検討を始めたところです。検討するなかで、これら 9 ダム及び導水トンネルには流量及び落差が比較的小さい施設も多く、小水力発電の事業性が限定的であるという課題も見えてきました。

北部ダム統管が管理するダム及び導水トンネルにおける小水力発電の実施に当たっては、行政による整備・維持管理だけでなく、民間事業者の持つ資金や経営能力等の民間活力を活用することも視野に入れていることから、小水力発電導入に係るサウンディング型市場調査（以下「本調査」という。）ではダム及び導水トンネルを活用した小水力発電の実施について民間事業者の皆様のご意見を徴取するとともに、地域振興やカーボンニュートラルへの貢献の可能性等についても提案・アイデアを幅広くお聞きがいをすることを目的としています。

2. 検討する事業の概要

2.1 想定する小水力発電内容

ダムの放流水を利用して行う小水力発電（必須事業）と、地域振興やカーボンニュートラルへの貢献に関する任意の取組（自主事業）で構成します。

小水力発電（必須事業）、任意の取組（自主事業）ともに、民間事業者の独立採算で実施していただくことを想定しています。民間事業者は発電する電気量の全量を売電し、売電収入を民間事業者の収入とします。

(1) 小水力発電（必須事業）

民間事業者の費用負担により、小水力発電施設の設計・建設及び維持管理（売電を含む）を実施していただきます。なお小水力発電施設の整備、維持管理を実施するにあたり、民間事業者には必要な法令上の許可等手続きと、国との協定締結を行っていただきます。

① 小水力発電施設の設計・建設

(ア) 施設の設計及びその関連業務

(イ) 施設の建設及びその関連業務（設備設置等含む）

(ウ) 試運転業務

(エ) その他業務

② 小水力発電施設の維持管理

(ア) 点検・保守業務

(イ) 運転・監理業務

(ウ) 修繕・更新業務

(エ) その他業務

(2) 任意の取組（自主事業）

小水力発電（必須事業）により得られる電力等を活用し、任意の取組（自主事業）を実施することができます。

事業内容は民間事業者の提案によりますが、周辺地域の活性化に資するダムの活用、災害時における地域の非常用電源としての発電電力の活用、ダム所在自治体や周辺地域との連携に関する取組、賑わい創出に寄与する収益事業（飲食店・売店・オープンカフェ等の営業活動、イベント運営等）については、民間事業者の提案に応じ、北部ダム統管と連携して実施することができます。

2.2 対象地及び対象施設の概要

(1) 対象地の概要

本調査の対象とする 9 ダム及び導水トンネルの位置と概要を下図に示します。大保ダム、福地ダム、安波ダムについては、既に発電施設を整備・運用しています。なお、導水トンネルについては新川ダムサイト下流に位置します。

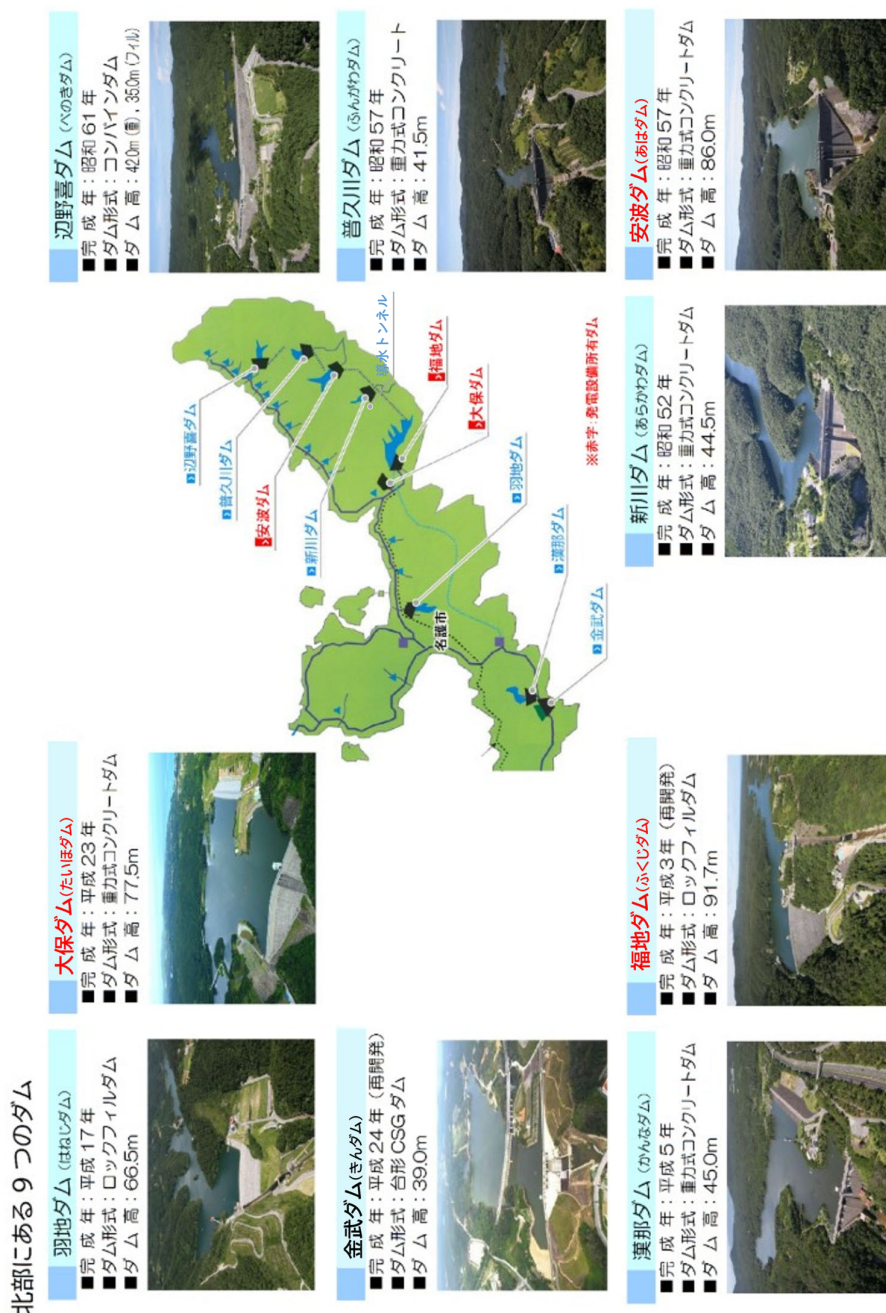


図 2-1 対象地の位置と概要

(2) 対象施設の概要

北部ダム統管が管理する 9 ダム及び導水トンネルについて、現時点で検討している整備対象施設（水力発電施設）の発電計画規模に関する主な設備諸元（案）を次表に示します。基本的には流量変化の少ない「河川維持流量」を使用水量とした小水力発電を検討しています。

なお、既設発電施設が整備・運用されている大保ダム（利水流量）、福地ダム（利水流量）、安波ダム（河川維持流量）では、既設発電施設以外の水路ルートでの検討結果を示しています。

表 2-1 整備対象施設における発電計画規模に関する設備諸元（案）※1 ※2

ダム名 項目	金武ダム (間欠式※3)	漢那ダム	羽地ダム (DAS 併用※4)	大保ダム 【既設】	福地ダム※5 【既設】
水系／河川	億首川／ 億首川	漢那福地川／ 漢那福地川	羽地大川／ 羽地大川	大保川／大 保川	福地川／ 福地川
発電形式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式
有効落差 (m)	15.0	20.6	35.6	52.7	38.6
使用水量 (m ³ /s)	0.09	0.04	0.225	0.92	3.29
	河川維持流量	河川維持流量	河川維持流量	利水流量	利水流量
最大出力 (kW)	10.3	5.3	55.3	380	1,130

ダム名 項目	新川ダム※5	安波ダム※5 【既設】	普久川 ダム※5	辺野喜 ダム※5	新川導水ト ンネル※5
水系／河川	新川川／ 新川川	安波川／ 安波川	安波川／ 普久川	辺野喜川／ 辺野喜川	新川川／ 新川川
発電形式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム式	導水 トンネル内
有効落差 (m)	7.6	38.2	12.0	23.3	37.1
使用水量 (m ³ /s)	0.07	0.25	0.07	0.17	0.15
	河川維持流量 +導水量	河川維持流量	利水流量+ 河川維持流量	河川維持流量	利水流量
最大出力 (kW)	3.6	67.0	5.6	25.0	38.2

※1 上記は調査時点の検討内容を踏まえたものであり今後変更になる可能性があります。

※2 水路ルートや発電施設の配置箇所は「4. 参考資料」に図面（写真等）で示します。

※3 下流河川水位に応じて 50cm 以上で放流を実施したり、停止したりする方法を適用しています。

※4 新規発電に適用する水量には期間制限があります。（1月～3月）

※5 北部 5 ダムの統合運用により、利水（導水）する時期や使用水量が決定されます。

2.3 想定するスキーム

2.3.1 事業の内容

必須事業として、対象ダム及び導水トンネルの放流水を活用し、小水力発電施設の整備（設計・建設）及び維持管理（売電を含む）を民間事業者の費用負担、責任において実施していただきます。また 2.1(2) 任意の取組（自主事業）として収益事業等を民間事業者の費用負担、責任において実施することが可能です。

なお小水力発電施設の整備、維持管理を実施するにあたり、事業者には必要な法令上の許可や登録の手続き等を行っていただきます。

本調査では、小水力発電の実施にあたり、現時点では以下の内容を想定しています。

2.3.2 事業方式

(1) 事業方式

本事業では、上記のとおり小水力発電施設の整備を民間事業者の資金、経営能力、技術力（ノウハウ）を活用し実施することを想定しており、事業方式としては、小水力発電施設を河川法上の許可工作物として扱う商用発電事業を想定しています。

なお、上記は調査時点での想定であり、本調査の結果を踏まえて今後検討していきます。

(2) 事業類型

北部ダム統管における小水力発電事業では、小水力発電施設の整備・維持管理を民間事業者の独立採算（施設の設計・建設、維持管理を民間事業者の負担で行う）で実施することを想定しています。

2.3.3 事業期間

北部ダム統管における小水力発電事業の事業期間（維持管理・維持管理期間）は小水力発電施設の設計・建設後 20 年間を下限とし、終了期間は事業者の提案によるものとする想定です。

2.3.4 民間事業者の費用負担及び収入

(1) 民間事業者の費用負担

民間事業者の費用負担としては以下を想定しています。なお、バックアロケーション（※）や関係機関との協議による適用基準達成に関し追加的な費用負担が生じる可能性があります。

- ① 小水力発電施設の設計・建設に要する費用
- ② 小水力発電施設の維持管理に要する費用
- ③ 水利・土地占用料
- ④ 自主事業の実施に要する費用（実施する場合）

※バックアロケーション：ダム建設に係る受益者負担の原則に基づき、新たに参加する

民間事業者（既設ダム貯水池を利用し必須事業を行う民間事業者）に建設負担金を求めること。

(2) 民間事業者の収入

民間事業者の収入としては以下を想定しています。

- ① FIT 単価適用時の年間売電収入（主に 20 年間）
- ② FIT 単価適用外の年間売電収入（21 年目以降も事業を継続する場合）
- ③ 任意の取組（自主事業）の実施による収入（実施する場合）

(3) 対象施設での想定

北部ダム統管における小水力発電事業で対象とする対象ダム及び導水トンネルにおける費用負担及び収入（いずれも必須事業分）は次表のとおり想定しています。なおこれは調査時点での検討内容を踏まえたものであり、今後変更になる可能性があります。

表 2-2 民間事業者の費用負担及び収入

ダム及び 導水トンネル	収入（百万円/年）※1		支出※2	
	FIT 単価 適用期間	FIT 単価 適用外期間	建設費 （百万円）	維持管理 （百万円/年）
金武ダム	2.2	0.8	114.0	1.2
漢那ダム	1.4	0.5	112.5	1.2
羽地ダム	2.9	1.1	110.5	1.2
大保ダム【既設】	30.5	9.3	165.5	1.8
福地ダム【既設】	83.5	52.9	424.9	6.8
新川ダム	0.2	0.1	110.7	1.2
安波ダム【既設】	10.6	2.8	225.7	2.0
普久川ダム	1.1	0.4	116.1	1.3
辺野喜ダム	4.4	1.6	114.9	1.2
導水トンネル	5.9	2.1	217.9	2.5

※1 収入は理論上の収入であり、実績とは異なります。（引用先：中小水力発電計画導入の手引きより算出）

※2 支出にはバックアロケーションや関係機関との協議による適用基準達成に要する費用を含んでおりません。

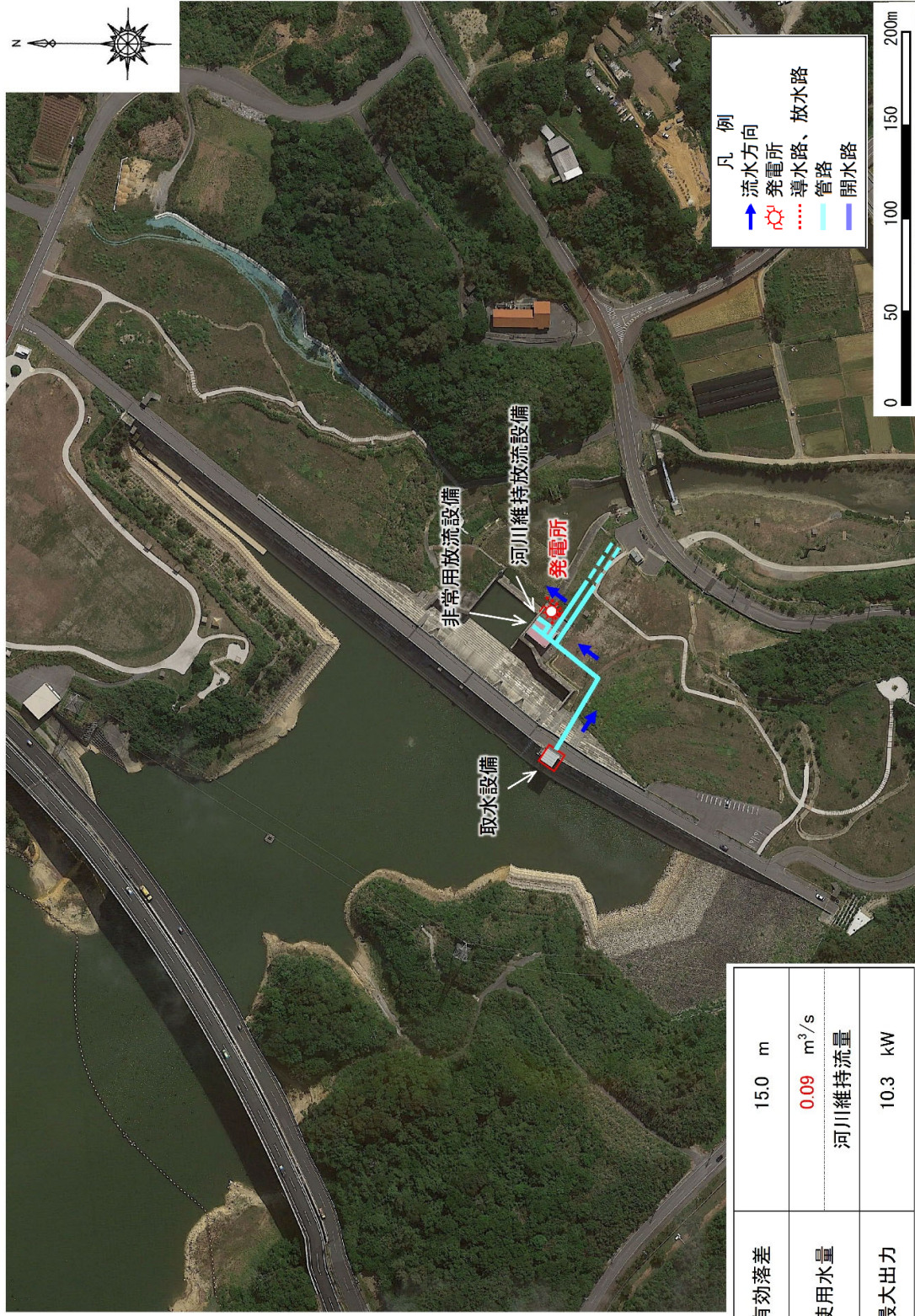
3. 事業スケジュール（想定）

現時点において想定している事業スケジュールは以下のとおりです。

- ・ 市場調査・事業化検討：1年程度
- ・ 事業者募集・選定、協定締結：1年程度
- ・ 設計・建設期間：3年程度 ※対象とする施設に応じます
- ・ 維持管理期間：20年間以上 ※終了期間は事業者の提案によるものとする。

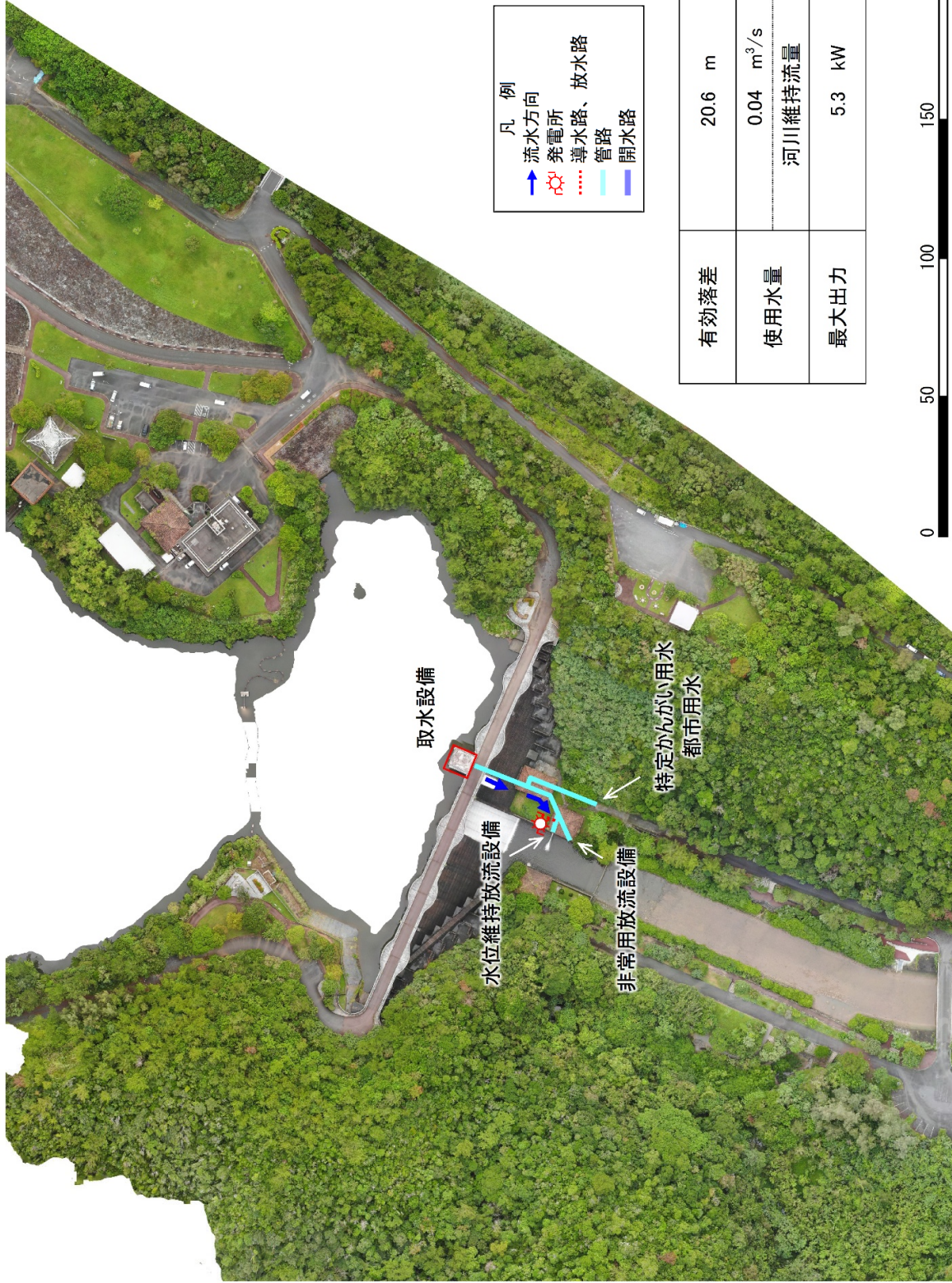
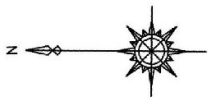
【金武ダム（間欠式※1）】

4. 参考資料



※1 下流河川水位に応じて50cm以上で放流を実施したり、停止したりする方法を適用している。

【漢那ダム】



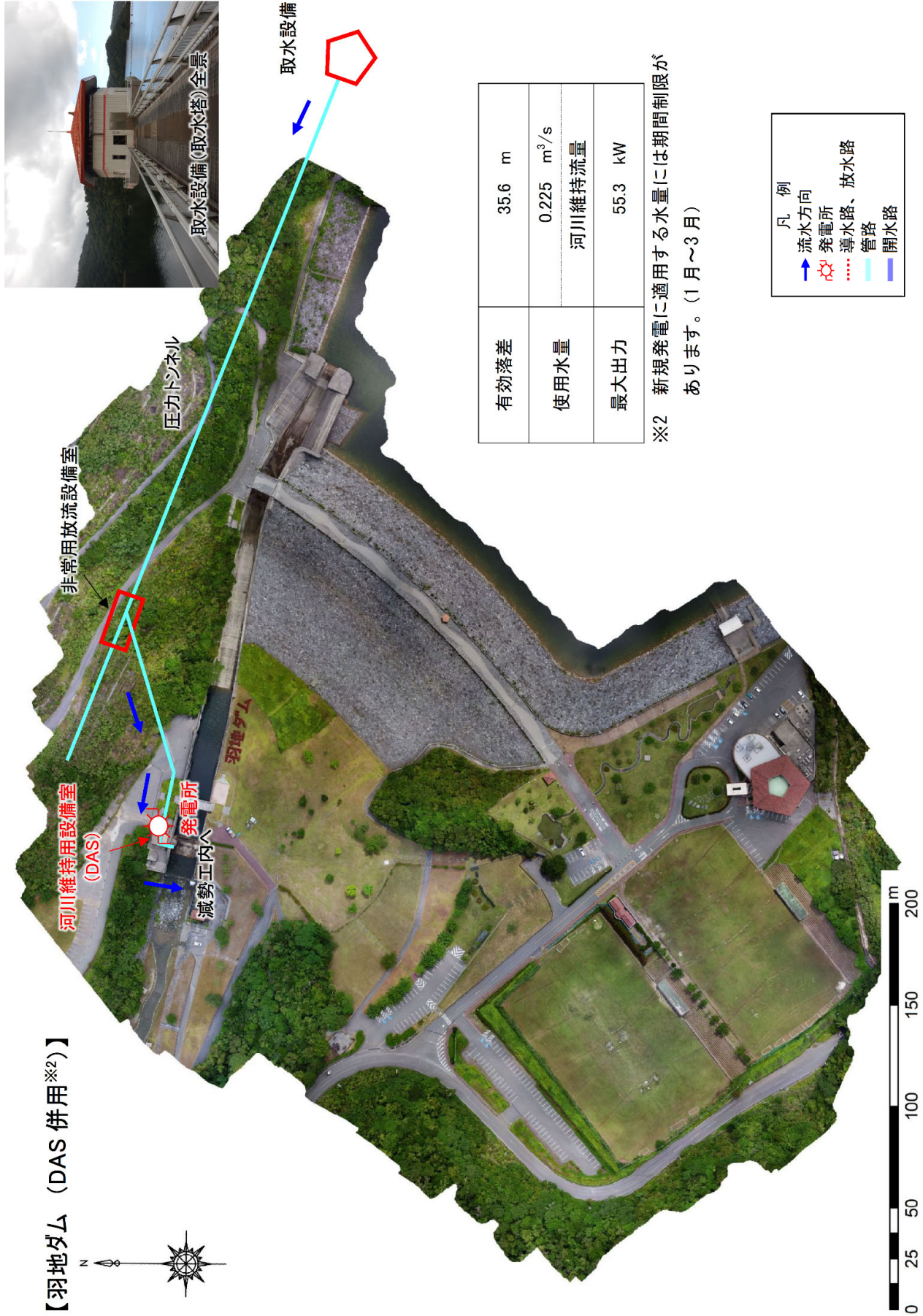
凡例

↑	流水方向
⊙	発電所
⋯	導水路、放水路
—	管路
—	開水路

有効落差	20.6 m
使用水量	0.04 m ³ /s
河川維持流量	
最大出力	5.3 kW



【羽地ダム (DAS 併用^{※2})】



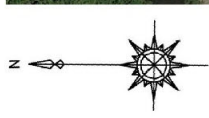
有効落差	35.6 m
使用水量	0.225 m ³ /s
河川維持流量	
最大出力	55.3 kW

※2 新規発電に適用する水量には期間制限があります。(1月～3月)

凡 例

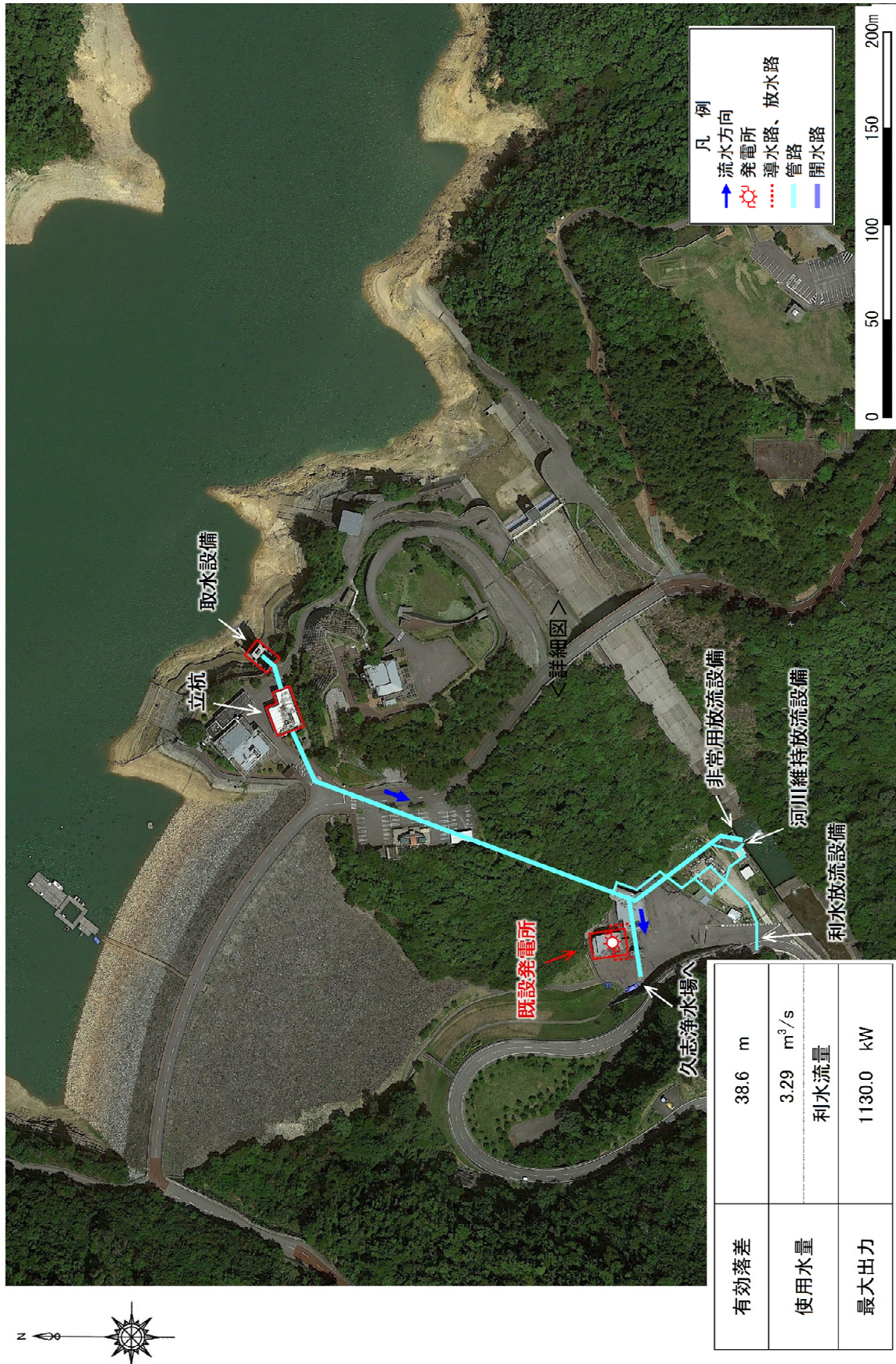
- 流水方向
- ⚙️ 発電所
- ⋯ 導水路、放水路
- 管路
- 開水路

【大保ダム】



有効落差	52.7 m
使用水量	0.92 m ³ /s 利水流量
最大出力	380.0 kW

【福地ダム】



有効落差	38.6 m
使用水量	3.29 m ³ /s
利水流量	
最大出力	1130.0 kW

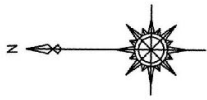
【新川ダム】

< 詳細図 >



有効落差	7.6 m
使用水量	0.07 m ³ /s
河川維持流量+導水量	
最大出力	3.6 kW

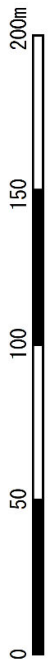
【安波ダム】



凡例

	流水方向
	発電所
	導水路、放水路
	管路
	開水路

有効落差	38.2 m
使用水量	0.25 m ³ /s
河川維持流量	
最大出力	67.0 kW

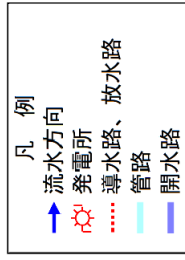
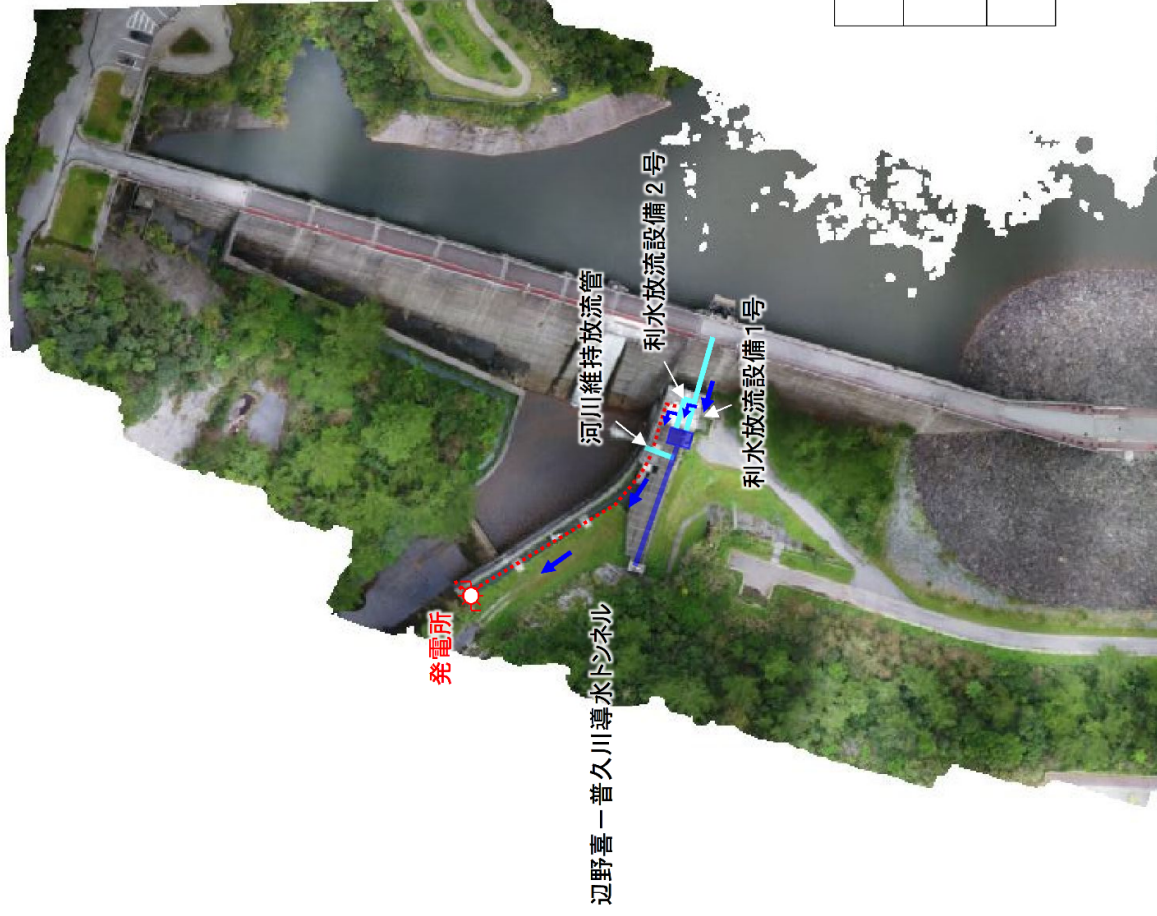
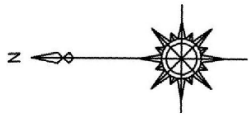


【普久川ダム】



有効落差	12.0 m
使用水量	0.07 m ³ /s
最大出力	5.6 kW
利水流量+河川維持流量	

【辺野喜ダム】



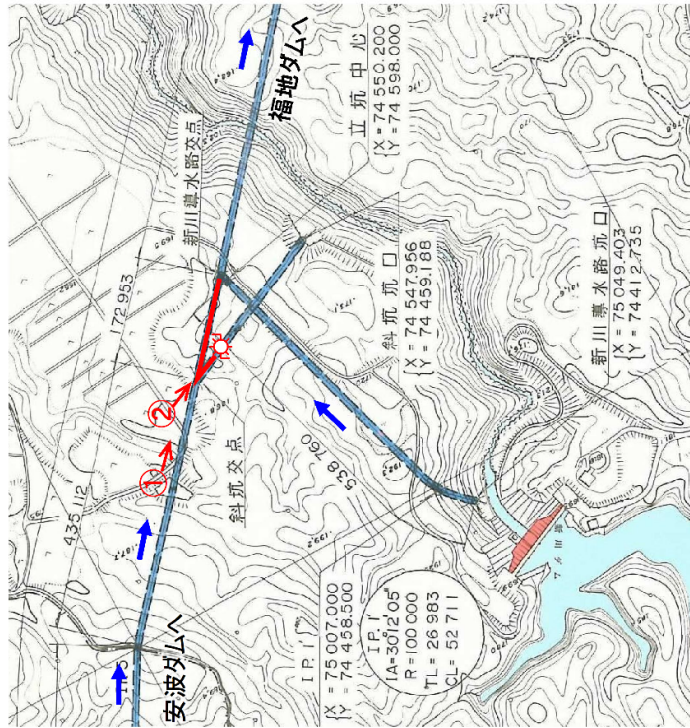
有効落差	23.3 m
使用水量	0.17 m ³ /s
河川維持流量	
最大出力	25.0 kW



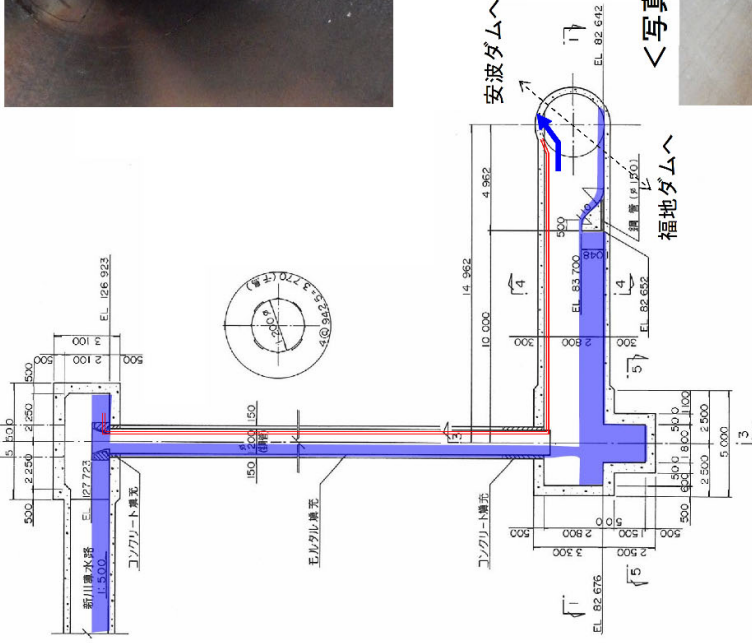
【新川-福地導水トンネル】

水路ルート案位置図

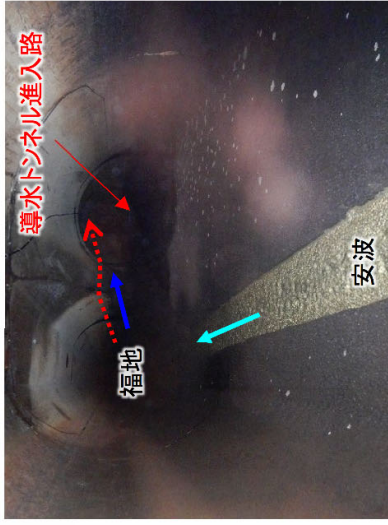
<平面図>



<縦断面図>



<写真①>



<写真②>



有効落差	37.1 m
使用水量	0.15 m ³ /s
利水流量	
最大出力	38.2 kW

5. その他資料

- ① ダム資料室（※各ダムの施設概要、水源地機ビジョン等についてご確認ください）
<https://www.dc.ogb.go.jp/toukan/library/index.html>

- ② 河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月、国土交通省水管理・国土保全局）
<https://www.mlit.go.jp/river/riyou/main/kasenshikichi/>

- ③ 各ダムの定期報告書（内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課、河川課（沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会））
https://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/mizu/dum_fup/dum_fup.html
 - ・ 令和6年度 福地ダム、新川ダム定期報告書
 - ・ 令和5年度 羽地ダム定期報告書
 - ・ 令和5年度 大保ダム定期報告書
 - ・ 令和4年度 金武ダム定期報告書
 - ・ 令和3年度 漢那ダム定期報告書
 - ・ 令和2年度 安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム定期報告書

北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
サウンディング型市場調査
現地説明会参加申込書

1. 貴社について

法人名		
法人所在地		
(グループの場合 構成法人名)		
ご担当者連絡先	氏名	
	所属企業・部署名	
	メールアドレス	
	電話番号	

2. 参加希望日（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	令和7年12月2日（火）	午前9時頃～午後3時頃
<input type="checkbox"/>	令和7年12月3日（水）	午前9時頃～午後3時頃
<input type="checkbox"/>	令和7年12月4日（木）	午前9時頃～午後3時頃
<input type="checkbox"/>	上記以外の日程を希望（令和7年 月 日（ ））	

※いずれの日程も午前9時頃集合、午後3時頃終了・解散（ともに現地）を予定しています。

※12月2日（火）～4日（木）以外の日程を希望する場合、ご希望の日にちをご記入ください。

3. 見学希望施設（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	金武ダム	<input type="checkbox"/>	漢那ダム	<input type="checkbox"/>	羽地ダム	<input type="checkbox"/>	福地ダム
<input type="checkbox"/>	新川ダム	<input type="checkbox"/>	安波ダム	<input type="checkbox"/>	普久川ダム	<input type="checkbox"/>	辺野喜ダム
<input type="checkbox"/>	大保ダム	<input type="checkbox"/>	新川導水トンネル				

※行程の都合上、すべてのご希望に沿えない場合がございますので予めご了承ください。

令和7年11月19日（水）17時までに、件名を「〔現地説明会参加申込〕北部ダム小水力発電事業」とし、下記のメールアドレス宛メールにてご提出をお願いいたします。

株式会社 建設技術研究所 PFI・PPP 室（担当：柄澤）
メールアドレス：hydropower.north-dam@ctie.co.jp

北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
サウンディング型市場調査
質問票

法人名		
法人所在地		
(グループの場合 構成法人名)		
ご担当者連絡先	氏名	
	所属企業 部署名	
	メールアドレス	
	電話番号	

番号	質問内容
1	
2	
3	
4	
5	

※質問内容欄の大きさ、行数は、必要に応じて適宜変更してください。

令和7年12月19日(金)17時までに、件名を「〔質問〕北部ダム小水力発電事業」とし下記のメールアドレスあてメールにてご提出をお願いいたします。

株式会社 建設技術研究所 PFI・PPP室(担当:柄澤)
メールアドレス: hydropower.north-dam@ctie.co.jp

北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
サウンディング型市場調査
調査票

令和 7 年 12 月 19 日(金)17 時までにご返信をお願いいたします。

※「実施要領」「別紙 1：事業概要資料」等をご確認のうえ、以下の各質問に対して可能な範囲でご回答ください。回答方法は、該当する欄に☑印をつけていただくか、回答欄へ貴社のお考えをご記入ください。

※ご回答が可能な設問についてご記入ください。

※設問によっては、(記載例)を記載しておりますが、ご回答の際は当該記載を削除して、貴社のご回答をご記入ください。

1. 貴社についておうかがいします

問1 貴社において、小水力発電施設の整備や維持管理の実績がございましたら、その内容について下欄にご記入ください。該当しない場合は「問 2」へお進みください。

【ご回答にあたり以下もご確認ください】

※官民連携によるダム小水力発電事業に限らず、小水力発電設備の整備や維持管理に係る実績についてご回答ください。

※複数施設の包括的管理や民間活力による事業実績がございましたら、優先的にご記入ください。

※過去または現在実施している事業に加え、差し支えない範囲で今後計画・予定している事業もご記入ください。

【貴社における事業実績】

(記載例)事業名/そのうちの貴社の担当業務/事業対象施設・規模/事業方式(従来方式、PFI 事業(BTO 方式、BOO 方式、BOT 方式)、民間事業) 等

2. 民間事業者の独立採算による小水力発電事業の実現性についておうかがいします

問2 国では、北部ダム統合管理事務所（以下「北部ダム統管」という。）管理ダムにおける小水力発電事業を、民間事業者が独立採算で実施することを想定しています。貴社が実施することを想定した場合の小水力発電事業の実現性（貴社の独立採算により、小水力発電を実施可能かどうか）について、貴社のお考えをご回答ください。（当てはまるものを一つ選択）

1 <input type="checkbox"/>	可能と考える →「問3」へお進みください	2 <input type="checkbox"/>	条件によっては可能と考える →「問3」へお進みください	3 <input type="checkbox"/>	不可能と考える →「問8」へお進みください	4 <input type="checkbox"/>	分からない・現時点では回答できない →「問8」へお進みください
--------------------------------------	-------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------	--------------------------------------	------------------------------------

問3 【問2で「1 可能と考える」または「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合にご回答ください】

北部ダム統管における小水力発電事業を実現するうえで必要な条件について、貴社のお考えを下欄にご記入ください。（可能であれば、設計・建設段階、維持管理段階に分けてご記入ください）

【実現するうえで必要な条件(設計・建設段階について)】

【実現するうえで必要な条件(維持管理段階について)】

→ご回答後は「問4」へお進みください。

問4 【問2で「1 可能と考える」または「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合にご回答ください】

北部ダム統管が管理する施設のうち、「既設発電施設が未設置の6ダム及び新川導水トンネルすべてをまとめて対象とする」場合の小水力発電事業の実現性について貴社のお考えをご記入ください（問2で「2条件によっては可能と考える」と回答した場合には問3でご回答いただいた条件が満たされた状況を想定してご記入ください）。

【実現性・回答理由】

（記載例）発電量に期待ができないため、事業の実現性は低い。

→ご回答後は「問5」へお進みください。

問5 【問2で「1 可能と考える」または「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合にご回答ください】

北部ダム統管が管理する施設のうち、「既設発電施設が未設置の6ダム及び新川導水トンネルのうち、民間事業者が任意で選択する施設を対象とする」場合の小水力発電事業の実現性についてお考えをご記入ください（問2で「2条件によっては可能と考える」と回答した場合には問3でご回答いただいた条件が満たされた状況を想定してご記入ください）。

※対象とするダムを選択してください。（複数選択可）

1 <input type="checkbox"/>	金武ダム	2 <input type="checkbox"/>	漢那ダム	3 <input type="checkbox"/>	羽地ダム	4 <input type="checkbox"/>	新川ダム
5 <input type="checkbox"/>	普久川ダム	6 <input type="checkbox"/>	辺野喜ダム	7 <input type="checkbox"/>	新川 導水トンネル		

【実現性・回答理由】

（記載例1）羽地ダム単独での実施が可能と考える。

（記載例2）辺野喜ダム及び新川ダムでの実施が可能と考える。

→ご回答後は「問6」へお進みください。

問6 【問2で「1 可能と考える」または「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合にご回答ください】

9 ダム及び導水トンネルのうち、「既設発電施設が未設置の6ダム及び新川導水トンネルに加え、既設発電施設を有する3ダム（既設発電施設を含む）のうち、民間事業者が任意で選択する施設を対象とする」場合の小水力発電事業の実現性について貴社のお考えをご記入ください（問2で「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合には問3でご回答いただいた条件が満たされた状況を想定してご記入ください）。

※対象とするダムを選択してください。（複数選択可）

【既設発電施設を有する3ダムを、事業範囲とする場合の留意事項】

- ・ 電力会社との受変電契約の有効期間が、現時点で当該3ダムそれぞれ10年程度残っています。
- ・ 今後の事業化検討の結果として、当該3ダムは北部ダム統管における小水力発電事業の対象外となる場合があります。

1 <input type="checkbox"/>	金武ダム	2 <input type="checkbox"/>	漢那ダム	3 <input type="checkbox"/>	羽地ダム	4 <input type="checkbox"/>	新川ダム
5 <input type="checkbox"/>	普久川ダム	6 <input type="checkbox"/>	辺野喜ダム	7 <input type="checkbox"/>	新川 導水トンネル	8 <input type="checkbox"/>	大保ダム 【既設】
9 <input type="checkbox"/>	福地ダム 【既設】	10 <input type="checkbox"/>	安波ダム 【既設】				

【実現性・回答理由】

（記載例）既設発電施設を有する3ダムを事業対象範囲とした場合、北部ダム統管の管理する全ダムをまとめた事業実施が検討可能

→ご回答後は「問7」へお進みください。

問7 【問2で「1 可能と考える」または「2 条件によっては可能と考える」と回答した場合にご回答ください】

北部ダム統管における小水力発電事業の実施にあたり、現在想定する事業方式として「小水力発電施設を河川法上の許可工作物として扱う商用発電事業」を想定しています。貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【商用発電事業として事業を実施することの可否】

【回答理由】

→ご回答後は「問9」へお進みください。

問8 【問2で「3 不可能と考える」または「4 分からない・現時点では回答できない」と回答した場合
にご回答ください】

小水力発電を実施できない理由や、小水力発電の実現性を高めるための条件等について、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【不可能と考える理由、実現性を高めるための工夫等】

→ご回答後は「問9」へお進みください。

問9 【「小水力発電」（必須事業）の事業性向上策についておうかがいします】

北部ダム統管における小水力発電では、各ダム単体での施設整備及び維持管理に要する費用が事業期間での売電収入の合計を上回る可能性が想定されます。

このような状況を踏まえ、小水力発電の事業性向上に向けた工夫（国・民間事業者）がございましたら、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【事業性向上に資する工夫】

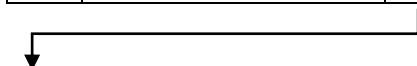
→ご回答後は「問10」へお進みください。

問10 【事業期間（20年間を下限とし、終了期間は事業者の提案とする）の妥当性についておうかがいします】

北部ダム統管における小水力発電導入で想定する事業期間（20年間を下限とし、終了期間は事業者の提案とする）の妥当性について、貴社のお考えをご回答ください。

「2 妥当でない」を選択された場合、妥当と考える事業期間とその理由について、貴社のお考えを空欄内にご記入ください。（当てはまるものを一つ選択）

1 <input type="checkbox"/>	妥当である	2 <input type="checkbox"/>	妥当でない	3 <input type="checkbox"/>	分からない
--------------------------------------	-------	--------------------------------------	-------	--------------------------------------	-------



妥当と考える事業期間		年	
回答理由			

→ご回答後は「問11」へお進みください。

問11 【民間事業者の費用負担の妥当性についておうかがいします】

北部ダム統管における小水力発電導入で想定する民間事業者の費用負担の妥当性について、貴社のお考えをご回答ください。（当てはまるものを一つ選択）

【ご回答にあたり以下もご確認ください】
・事業者の費用負担としては以下を想定しています。

- ①小水力発電施設の設計・建設に要する費用
- ②小水力発電施設の維持管理に要する費用
- ③水利・土地占用料
- ④任意の取組（自主事業）の実施に要する費用（実施する場合）

※なお、バックアロケーション（ダム建設に係る受益者負担の原則に基づき、新たに参加する事業者建設負担金等を求めること。）や関係機関との協議による適用基準達成に関し追加的な費用負担が生じる可能性があります。

1 <input type="checkbox"/>	妥当である →「問13」へお進みください	2 <input type="checkbox"/>	妥当ではない →「問12」へお進みください	3 <input type="checkbox"/>	分からない →「問13」へお進みください
--------------------------------------	-------------------------	--------------------------------------	--------------------------	--------------------------------------	-------------------------

問12 【民間事業者の費用負担で変更すべき事項についておうかがいします】

北部ダム統管における小水力発電導入で想定する民間事業者の費用負担に関し、貴社が必要と考える国と民間事業者との分担（国の負担とすべきもの、民間事業者の負担から変更すべきもの）について、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【民間事業者の費用負担で変更すべき事項】

→ご回答後は「問13」へお進みください。

問13 【任意の取組（自主事業）についておうかがいします】

任意の取組（自主事業）を実施すると想定した場合に、貴社が想定する事業内容を下欄にご記入ください。これら事業の実施を想定していない場合は「問15」へお進みください。

【ご回答にあたり以下もご確認ください】

※各ダムサイト周辺用地の情報については「別紙1 事業概要資料」の「5. その他資料」に以下の URL を掲載しておりますのでご参照ください。

- ・河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月、国土交通省水管理・国土保全局
- ・8ダムの定期報告書（内閣府沖縄総合事務局沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会配布資料）

【想定する任意の取組(自主事業)の内容】

→ご回答後は「問14」へお進みください。

問14 【任意の取組（自主事業）を実施する場合の条件・支援等についておうかがいします】

貴社が任意の取組（自主事業）を実施すると想定した場合に必要な条件（規制緩和等）、国やダム所在自治体等に希望する支援・連携内容等について、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【実施するうえで必要な条件や希望する支援・連携内容等】

→ご回答後は「問15」へお進みください。

問15 【事業方式全体についておうかがいします】

北部ダム統管における小水力発電導入で想定する事業方式について、これまでにご回答いただいた内容以外の条件・要望・懸念点等がございましたら、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

【条件・要望・懸念点等】

→ご回答後は「問16」へお進みください。

3. 北部ダム統管における小水力発電導入への参加意向についておうかがいします

問16 北部ダム統管における小水力発電導入に対する貴社のご関心についておうかがいします。
(当てはまるものを一つ選択)

1 <input type="checkbox"/>	関心がある	2 <input type="checkbox"/>	どちらかと言えば 関心がある	3 <input type="checkbox"/>	どちらかと言えば 関心がない
4 <input type="checkbox"/>	関心がない	5 <input type="checkbox"/>	分からない		

→ご回答後は「問 17」へお進みください。

問17 国では今後、本調査等の結果を踏まえ、北部ダム統管における小水力発電導入の事業化に向け検討を進めていきます。北部ダム統管における小水力発電導入に関し、引き続き情報提供を望まれますか。貴社のお考えをご回答ください。(当てはまるものを一つ選択)

1 <input type="checkbox"/>	望む	2 <input type="checkbox"/>	望まない	3 <input type="checkbox"/>	その他 ()
-------------------------------	----	-------------------------------	------	-------------------------------	------------

→ご回答後は「問 18」へお進みください。

問18 北部ダム統管における小水力発電導入が事業化された場合の参加の検討可能性について、貴社のお考えをご回答ください。(当てはまるものを一つ選択)

1 <input type="checkbox"/>	積極的に参加を検討する	2 <input type="checkbox"/>	条件によっては検討する	3 <input type="checkbox"/>	検討しない可能性が高い
4 <input type="checkbox"/>	検討しない	5 <input type="checkbox"/>	分からない		

→ご回答後は「問 19」へお進みください。

問19 事業への参画を検討するにあたって提供を希望する情報がございましたら、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

→ご回答後は「問 20」へお進みください。

問20 北部ダム統管における小水力発電導入に対する国への要望や民間事業者の皆さまへの配慮事項として求めるもの等がございましたら、貴社のお考えを下欄にご記入ください。

→ご回答後は「企業名及び連絡先記入欄」へお進みください。

企業名及び連絡先記入欄

貴社名	
ご担当部署	
ご担当者名	
連絡先住所	〒
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。
ヒアリングにご協力いただける場合は、「様式4：ヒアリング希望確認書」に必要事項
をご記入の上、以下のメールアドレスにご提出ください。

令和7年12月19日（金）17時までに、件名を「〔調査票〕北部ダム小水力発電導入」とし、以下のメールアドレスあてメールにてご提出をお願い致します。

株式会社 建設技術研究所 PFI・PPP 室（担当：柄澤）
メールアドレス：hydropower.north-dam@ctie.co.jp

〔ご記入に当たってのお願い〕

- 本調査は、あくまでも北部ダム統管における小水力発電導入に対する民間活力の導入可能性を検討する為のものであり、当調査票への記述内容によって、貴社が北部ダム統管における小水力発電事業に関して利益または不利益を受けるものではありません。
- ご回答いただいた内容は本調査以外の目的には利用しません。

北部ダム統合管理事務所管理ダム小水力発電事業に係る
 サウンディング型市場調査
 ヒアリング希望確認書

1. 貴社について

法人名			
法人所在地			
(グループの場合 構成法人名)			
ご担当者連絡先	氏名		
	所属企業 部署名		
	メールアドレス		
	電話番号		

2. ヒアリング希望日（複数選択可）

令和8年1月26日（月）	対面	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい
	WEB	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい
令和8年1月27日（火）	対面	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい
	WEB	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい
令和8年1月28日（水）	対面	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい
	WEB	<input type="checkbox"/>	AM	<input type="checkbox"/>	PM	<input type="checkbox"/>	どちらでもよい

※対面の場合は実施場所として北部ダム統合管理事務所または貴社ご指定の場所を想定しています。

令和7年12月19日（金）17時までに、件名を「〔ヒアリング希望〕北部ダム小水力発電事業」とし、下記のメールアドレスあてメールにてご提出をお願いいたします。

株式会社 建設技術研究所 PFI・PPP 室（担当：柄澤）

メールアドレス：hydropower.north-dam@ctie.co.jp